

# Kyoto Hollywood News 京都ハリウッド通信

## 妖怪は生に限る！ CGより竹中直人の 油すまじが見たい！



水木しげる、荒俣宏、京極夏彦、宮部みゆき……。この豪華な面々がプロジェクトチーム「妖怪」を結成、あの「妖怪3部作」のリメイクに乗り出した。「妖怪3部作」とは大映京都撮影所が68年より製作した「妖怪百物語」「妖怪大戦争」「東海道お化け道中」の3作品。特撮を駆使した妖怪時代劇の傑作と高く評価され、日本中に妖怪ブームを巻き起こした。かの「ゲゲゲの鬼太郎」のアニメが放映されたのもこの頃だ。今回「妖怪」チームがプロデュースするのは「妖怪大戦争」。監督は「サラリーマン金太郎」「セブライマン」「着信アリ」の三池崇史。最近の映画では怪物を描くのに、何かとCGを多用する傾向があるが、本作では基本的に妖怪を人間が演

じるという方針を貫き、ろくろ首の撮影でもレンタル料金が1日150万円もするモーション・コントロール・カメラを使用し、女優の頭部と胴体を別々に撮影、延びた首をCGで合成するという手法のため、1カットの撮影に4日を費やした。ラストは300匹の妖怪が大乱戦。ユニクなのは妖怪のキャスティングで、油すまじを竹中直人、ぬらりひよんを忍野清志、豆腐小僧を堂原徹、雪女を吉井伶、大首を石橋蓮司、鳥刺し妖女・アギを栗山千明が演じる。この面々がリアルといえど、いながらCGがリアルといえる。「生」の魅力には違わない。CGの油すまじが見たい！新生角川映画大作第1作。来年8月、全国松竹系公開。



「妖怪百物語」徳間ジャパンよりDVD絶賛発売中 (税抜4700円)

## 妖怪大戦争 ようかい だいせんそう

出演は他にも神木隆之介、宮迫博之、南果歩、菅原文太ら。水木、荒俣、京極、宮部諸先生方も特別出演

## 妖怪日記 タイトル

古から伝えられる妖怪たちの、平凡かつ手塚な日々。



**からかさ**  
1本足でひとつ目の日本有数のメジャーな妖怪。自由奔放で無節操な性格。

**哀愁坊主**  
内気でお人好し、ひたすら忍耐強く打たれ強い性格。殺し時はボエムを喰む。



ビデオ・DVD全国レンタル店にてレンタル中。DVDは一般店頭にてエスモックより発売中。定価4700円 (税別)

昨年製作された小生の脚本・監督作品「妖怪怪談全集番外編・女刑事と裸体解剖鬼」が「妖奇怪談全集」DVDがレンタル開始。内容は題名の通り、女刑事が裸体の美女を解剖する残酷非道な医者や聞かぬもの、ゾンビメイドやらソニン市、つまりソニンの座頭市やらが絡み、ダメ押しに幽霊も登場。アクション、お色気、スプラッター、チャンバラ、怪談がゴチャマゼの、テンコ盛り娯楽ムービー。語り、効果、音響は京極夏彦、特別出演は新耳袋の木原浩勝、主演は才谷ゆきこ、中西絵里奈と、これから撮影の「裸女大屠殺」の原点ともいえる作品。是非ご賞味あれ。



「トリビアの泉」「トンゲモ本」でおなじみ、廣沢優一氏と小生

伊藤えん蔵・劇団ファンタム主催、演劇界のみならず、テレビ・ラジオ・CM・文筆と幅広く活躍。テレビ出演では「あすか」「テレビのツボ」「たかじんいっぴい」など

「トリビアの泉」や「トンゲモ本」の世界でおなじみの廣沢優一、実話怪談を収集し、テレビ化や映画化もされた「バスターセラー」映画に懐中電筒を一本、白杖を一本、鬼の角のようにくくり付けていた「想文書」(怪談専門誌・幽)の編集者として、実に異様なもの、それを横濱正史が引用し、かの名作「八つ墓村」が生まれた次第。今回の「裸女大屠殺」では劇団ファンタムの伊藤えん蔵が三人殺しに挑戦。その他の出演はファンタムの看板女優・美津乃あけ、映画「狂婦人の夏」企画・脚本協力・出演の阿部能丸、高橋美佳子、小村りこ、中西絵里奈、才谷ゆきこ、11月より撮影。来年7月公開の予定。

「八つ墓村」のモデルになった事件として有名。津山事件の犯人のいど直子は、暗黒の学生時代に脚絆に懐中電筒を一本、白杖を一本、鬼の角のようにくくり付けていた「想文書」(怪談専門誌・幽)の編集者として、実に異様なもの、それを横濱正史が引用し、かの名作「八つ墓村」が生まれた次第。今回の「裸女大屠殺」では劇団ファンタムの伊藤えん蔵が三人殺しに挑戦。その他の出演はファンタムの看板女優・美津乃あけ、映画「狂婦人の夏」企画・脚本協力・出演の阿部能丸、高橋美佳子、小村りこ、中西絵里奈、才谷ゆきこ、11月より撮影。来年7月公開の予定。

## 今月の言葉

責任編集人 山田誠二

1963年生まれ。京都を拠点に、映画のプロデュース、脚本、評論の他、コミック原作など多方面で活躍の作家。映画関連著作多数執筆。

2004年11月1日 山田誠二